

快適性とコスト効率を考えた車内へ。

トラック向け製品ラインアップ





トラックはドライバーにとってのオフィスです。つまり車内の心地よさづくりが、仕事環境を整えることになるのです。たとえばベバスト製品のひとつである燃烧式ヒーターは、エンジンを停止した状態でも運転席を暖かく保てるため、ドライバーに質の高い休息を提供でき、運転時の集中力につながります。そして企業経営の面でも、燃料コストを抑えることができるため効率的。もちろんCO₂の削減にもつながるため、環境保護の面からも日本の多くの企業で導入されています。すべての製品やサービスは、ベバストの歴史・文化、そして「心地よさを進化させたい」という思いから生まれています。



110年に渡り継承されてきた伝統

1901年、ウィルヘルム・バイアーによって創業。創業家一族による安定した経営基盤のもとに高い技術と優れた品質を誇る製品を生み出し続けています。



自動車の国・ドイツ生まれ

自動車先進国ドイツで、その進化とともに歩み続けているベバスト。つねに最先端のニーズに対応するだけでなく、新たなアイデアを生み続けることで世界の自動車の進化に貢献してきました。



1901
ウィルヘルム・バイアー (Wilhelm Baier) が会社を設立。



1932
パノラマバス向けに初のフォールディングルーフを供給。サンルーフの起源。



1978
ベバストと自動車用部品メーカー大協(株)が50:50の出資でダイキョー・ベバスト(株)を設立。



1908
ドイツミュンヘン近郊のストックドルフへ移転。主に自転車用部品を製造。



1935
熱交換器の原理を利用して、車両用ヒーターを開発。ベバストヒーターの誕生。



1974
世界初のガラスサンルーフ開発。



ベバスト。ドイツ生まれの燃焼式ヒーター。

私たちの目指す未来。それは、誰もが心地よくドライブできる環境を実現すること。たとえばエンジンを切った状態でも、暖かい車内をつくり出すことのできる燃焼式ヒーターは、ベバストが届ける心地よさの答えのひとつです。自動車の国であり、環境立国としても世界を牽引してきたドイツで、100年以上に渡って育まれてきた技術と品質。そして今このときも世界中で選ばれ続けるブランドである誇りを胸に、私たちベバストはいつでも心地よさをつくり、ドライビングの常識をひとつずつ変えていきます。

革新的テクノロジー



新技術の継続的な開発およびR&D（研究開発）に投資をし、世界のリーダーとして、業界を牽引しています。すべてのお客様に満足していただくことを目指して、ベバストはさらに進化を加速させていきます。

信頼の品質



自動車業界の黎明期からサンルーフやコンパチブルシステムをはじめ、ヒーターや空調システムの開発経験を積み上げてきました。そしてこれからも世界に先駆け、高品質な製品を提供していきます。

サービスネットワーク



世界50カ国以上に営業拠点をもち、そのうち30カ国以上に製造拠点を備えています。日本でも全国に広がるネットワークで、取付けからアフターサービスまで、万全の体制でお客様に安心と信頼のサービスをお届けします。

ベストブランド獲得



ドイツ本国では、商用車向けエアコンディショニングおよびヒーターシステムのナンバーワンブランドとして、8年連続（2012年時点）で商用車業界の専門家たちによって選ばれるベストブランド賞を獲得しています。

1988
乗用車用ヒーター
サーモトップの
量産開始。



1999
ベバスト100%出資子会社
ベバスト ジャパン(株)として創立。
日本国内で燃焼式ヒーター事業開始。



2011
パーキングクーラー 発売開始。



1992
ドイツ ノイブランデンブルクに
パーキングヒーター
製造工場を建設。

2007
サーモ製品を専門とした
ベバスト ジーシーエス ジャパン設立。



燃焼式ヒーター
AT2000ST 発売開始。



2013
体制変更に伴い
ベバストジーシーエスジャパン(株)から
ベバスト サーモアンドコンフォート ジャパン(株)へと
商号変更。

コスト削減、労務環境向上に貢献するエアヒーター Air Top 2000 STC

エンジン停止状態で稼動するベバスト エアヒーターは、アイドリングに比べて約1/10の燃料消費量。
大幅なコスト削減に貢献すると同時にCO₂も削減し、環境負荷も低減します。
また、アイドリングによる騒音を抑制し、ドライバーの休息の質を高めます。

製品特徴

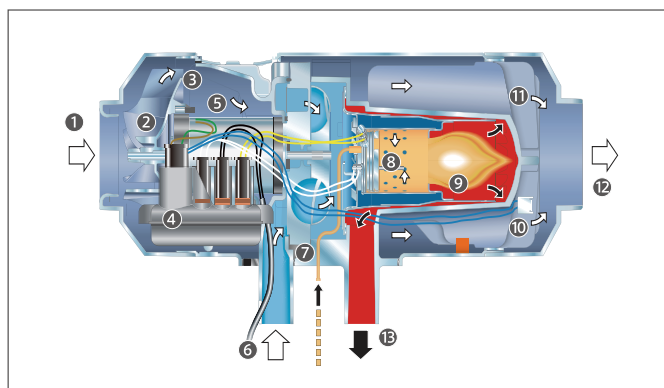
- ひと晩(8h)使用して燃料消費は1ℓ程度
- エンジン停止状態で使用でき、アイドリングによる騒音を抑制
- 設定温度に達すると出力を自動制御する安心・省エネ設計
- バッテリー電圧が低下するとヒーターは自動停止
- 軽量小型の省スペース設計
- 万一の故障の場合は不具合箇所をお知らせ

第2回エコプロダクツ大賞 エコプロダクツ部門審査委員長特別賞 受賞



Air Top 2000 STC

ベバストヒーターの構造



〈燃焼の仕組み〉

燃料ポンプで送られた燃料⑦とファンで吸入した空気⑥との混合ガスにグロープラグ⑧で着火し、燃焼室内⑨で燃やすことにより熱交換器⑩を暖める。完全燃焼した微量の排気ガスは車外に排出⑬

〈温風の仕組み〉

内蔵モーター⑤で空気吸入ファン②を回し、取り入れた車内の空気①を熱交換器⑩で暖めて、車内に温風を送り込む⑫
温度センサー③で吸入空気の温度を感知しながらコントロールユニット④で燃焼をコントロールする

※万が一、オーバーヒートした場合はセンサー⑩が働きヒーターを自動的にストップする

スイッチ類 (購入時に選択ください)

マルチ・ユニコントロール*

日本語表示機能で使いやすさ抜群。さらに充実した予約タイマー機能で始動・停止の時間、曜日、および温度の設定が可能です。乗車前に霜取りをすることができます。

*危険物搭載車に装着する場合はユニコントロールとなります



マルチコントロール



ユニコントロール



ヒーターの設置例

製品仕様

	Air Top 2000 STC
使用燃料	軽油
電圧(V)	24V
暖房能力(kw)	0.9~2.0
燃料消費量(ℓ/h)	0.12~0.24
消費電力(W)	14~29
最大温風供給量(m ³ /h)	93
サイズL×W×H(mm)	311×120×121
重量(kg)	2.6

夏場のアイドリングストップを実現するパーキングクーラー Cool Split 20

エンジン停止状態で作動するベバスト パーキングクーラーは、アイドリングによる冷房に比べ、燃料経費を大幅に削減。CO₂も排出しないため、企業のイメージアップにも貢献します。
配送先の構内での荷待ち時やパーキングエリアでの仮眠時も快適なキャビンを確認し、労務環境の向上を実現します。

製品特徴

- 走行中に車両エアコンで冷やされた車内をエンジン停止後も快適に保持
- 従来の蓄冷式クーラーと比べ、長時間の使用が可能となり快適性も向上
- 燃料経費、CO₂排出量を削減
- 付属のリモコンで操作は簡単

取付け必要条件

- バッテリー容量増量
バッテリー容量 125Ah 以上のバッテリーが必要です。
 - 導風板の仕様
トップユニットの場合、室外機は導風板内に取付けますが、導風板の種類によっては適合しない場合があります。
 - バックウインド交換
室内機はバックウインド部に取付けるため交換が必要になります。
 - 適合車種
車種によって取付けできない場合があります。長距離運行の車両に特に適しています。
- ※詳しくはベバスト取扱店にお問い合わせください。



取付イメージ(トップユニットの場合)



取付イメージ(バックユニットの場合)



製品仕様

項目	名称	仕様
外形寸法	室内機	Cool Split EVA IN 650 (W) mm x 280 (H) mm x 170 (D) mm
	室外機 (Top)	Cool Split 20 TP OUT 675 (W) mm x 250 (H) mm x 500 (420) (D) mm
	室外機 (Back)	Cool Split 20 BK OUT 465 (W) mm x 695 (H) mm x 200 (D) mm
	DC-AC Inverter	355 (W) mm x 90 (H) mm x 140 (D) mm
主要製品質量	室内機	Cool Split EVA IN 6.0 kg
	室外機 (Top)	Cool Split 20 TP OUT 17.5 kg
	室外機 (Back)	Cool Split 20 BK OUT 18.5 kg
	DC-AC Inverter	6.0 kg
電圧	低電圧側	24VDC
	高電圧側	220VAC
消費電力	Power consumption	820W (140W - 820W)
冷房能力	Cooling Capacity	2000W (830W - 2000W)
COP		5.0 Conform to IPLV*1
冷媒/充填量		HFC-134a / 600g / GWP1430*2
低電圧保護		22.6V 以下で自動停止

*1: IPLV : Integrated Part Load Value (空調機省エネ性能評価指標)
*2: GWP : Global Warming Potential (地球温暖化係数)

仕様は予告なく変更することがあります。

ベバスト製品の導入は、企業に多くのメリットをもたらします。

エンジン停止状態で使用できるベバストのエアヒーター/パーキングクーラーは、アイドリングによる冷暖房に比べて燃料コストを大幅に削減。さらに静かな車内環境を実現することで、ドライバーの労務環境を整えます。また地球環境にもやさしいため、企業のイメージアップにも貢献します。

エアヒーター Air Top 2000 STCの場合

削減経費:年間 **100,000円以上** 削減可能です。

計算基本条件

- 軽油価格100円/ℓ
- アイドリング時の燃料消費量1.8ℓ/h
- アイドリング時間5h/日
- 稼働日数25日/月
- エアヒーター燃料消費量0.18ℓ/h
- エアヒーター稼働日数5ヵ月/年

※上記の計算は、全日本トラック協会によるアイドリングストップヒーターの平均使用時間に基づき算出しています(2008年3月発表)。車両やアイドリング時の使用環境によって車両およびベバスト エアヒーターの燃料消費量が異なります。

パーキングクーラー Cool Split 20の場合

削減経費:年間 **110,000円以上** 削減可能です。

計算基本条件

- 軽油価格100円/ℓ
- アイドリング時の燃料消費量1.8ℓ/h
- アイドリング時間5h/日
- 稼働日数25日/月
- パーキングクーラー燃料消費量0ℓ/h
- パーキングクーラー稼働日数5ヵ月/年

※車両やアイドリング時の使用環境によって車両の燃料消費量が異なります。

助成金のご案内

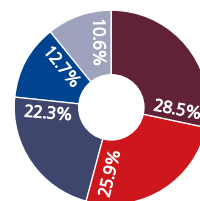
アイドリングストップ支援機器導入助成事業

トラック協会から購入費の一部が助成されます。詳しくは各都道府県トラック協会へお問い合わせください。

全体のコストに占める

燃料費の割合をご存知ですか？

運送会社のコストのうち、燃料費の占める割合は約1/4というデータがあります。つまり、燃料費を削減することは、企業の利益拡大につながるのです。



■ スタッフ:28.5%
■ 燃料:25.9%
■ 走行にかかるコスト(メンテナンスを含む):22.3%
■ 固定費(減価償却、税金を含む):12.7%
■ 一般経費(材料費を含む):10.6%
出所:BGLe.V.(ドイツ貨物輸送協会)2011年

事故のない安全なドライビングは休息からはじまる！

国土交通省がリリースした『トラック輸送の過労運転防止マニュアル』によると、運転者の深夜・早朝を含む長時間の労働の結果、慢性的な休養不足により疲労が蓄積しやすく、運転者に過労状態が生じやすい傾向があると報告されています。また、長距離運行の際の車中泊等、睡眠環境の悪さ

などが疲労回復を妨げ、過労運転の要因となっています。こうしたことから生じる過労状態による一瞬の気の緩みが、トラック運転では大事故を引き起こすと結論付けており、車内でいかに休息の質を高めるかが問われています。

*2009年

企業としてさらなるCO₂削減に貢献しませんか？

日本国内における運輸部門のCO₂排出量は2006年のデータで2億5,400万トン*。全CO₂排出量の約2割を占めています。また貨物自動車に限ると、その量は約9,000万トンとなっています。さらにはベバストのエアヒーターは、通常のエアコンに

比べ燃料消費量が約1/10。CO₂削減に大きく貢献できるため、企業の環境保全活動の一環としても有効です。

*国立環境研究所温室効果ガスインベントリーオフィス「日本の温室効果ガス排出量データ」より作成

全国に広がるベバスタのネットワーク

ベバスタ サーモアンドコンフォート ジャパンは、
北は北海道から南は沖縄まで、全国にサービスネットワークを展開。
商品を快適かつ安心してお使いいただくために、
取付けからアフターサービスに至るまで
安心と信頼をお客様にご提供いたします。





ベバストは、1世紀以上に渡り、OEMとアフターマーケットの両方で、常に新たな技術基準を打ち立ててきました。世界の自動車業界のトップ100サプライヤーのひとつに数えられ、各種サンルーフ、コンバーチブルシステムをはじめとするルーフボディーシステムおよび車載用燃焼式ヒーター、空調システムなどの製品を開発・製造しています。当社の製品は、乗用車、トラック、商用車、建設機械、特殊車両、キャンピングカー、ボートの快適性、安全性、効率性を向上させ、最上級のドライビング空間を提供します。生産設備とディーラー網は世界中にネットワークを築いており、高品質の製品、サービスを保証します。

販売代理店

ベバスト サーモアンドコンフォート ジャパン株式会社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-19-5

新横浜第二センタービル8F

Email: info.wtjp@webasto.com

※本カタログの内容は2019年5月現在のものです。製品内容については予告なく変更する場合があります。

www.webasto.com/jp